

第43回全国在日外国人教育研究集会・神奈川大会にご参加を！

第43回全国在日外国人教育研究集会（神奈川大会）

多文化共生社会実現のための教育を創造しよう

第四三回全国在日外国人教育研究集会是、神奈川の地で開催いたします。神奈川での開催は、第九回（一九八八年）、第一九回（一九九八年）、第二七回（二〇〇六年）、第三四回（二〇一三年）に続いて五回目となります。前回の神奈川大会からおおよそ一〇年が経過していますが、その間にはさまざまな変化がありました。

国際的に見ると、新型コロナウイルスのパンデミックで停滞していた時期はあるものの、国境を越えた人の移動は増加しています。その背景は、紛争、貧困、気候変動の影響など様々です。その一方で、ヨーロッパやアメリカでは移民排斥を唱える人々や政党が勢力を増して分断が深まっているとも報道されています。

翻つて、日本は「移民政策が存在しない」と指摘されて久しくなります。少子高齢化が加速し、外国人労働者はなくてはならない存在になっているにも関わらず、日本政府は外国人を労働力としてのみ捉え、共に生きる隣人として受け入れる姿勢は見えません。

日本人には基本的な権利として保障されている義務教育も外国人は適用の範囲外とされています。昨年の四月に文部科学省は、小学校や中学校などに通えていない「不就学」のおそれがある外国人の子どもの数は、全国で八〇〇〇人以上に上ると発表しました。就学案内を外国人の家庭には送付していない地方公共団体が未だに二四パーセントもあるといえます。日本語指導を必要とする生徒の高校進学率も、地域による差が大きいという状況があります。

二〇一六年に「ヘイトスピーチ解消法」が施行されましたが、罰則を伴わない理念法にとどまるため、その後も日本各地で差別を煽動するデモなどは後を絶ちません。神奈川県は川崎市では二〇一九年に罰則付きの条例が全国に先駆けて成立し、路上でのあからさまな差別表現は減りました。しかし、ネット上には差別表現があふれています。ここで多くの子どもたちは日常的に差別に触れ、外国につながる子どもたちは差別にさらされています。物心ついた頃からパソコンやインターネットが普及していた環境で育った現代の子どもたちにとっては、ネットの世界も「リアル」です。この重大な人権侵害を止めなければなりません。

新型コロナウイルスの影響で、この集会所も二年間開催できませんでした。一昨年の鳥取と昨年の徳島での大会および生徒交流会で私たちは本当の「リアル」・対面での交流の大切さを実感しました。多文化共生社会実現にむけ、各現場での実践を持ち寄り交流し、課題解決に向けた議論を深めたいと思います。みなさま、ぜひ神奈川にお集まりください。なお、詳細につきましては開催要項にてお知らせいたします。

□日程・内容 《2024年》

全国在日外国人生徒交流会

8月12日（月）～13日（火）

横浜市野島青少年研修センター

（横浜市金沢区野島町24-2）

フィールドワーク

8月12日（月）川崎方面を予定

開会行事・全体会

8月13日（火）

横浜市教育会館

（横浜市西区紅葉ヶ丘53）

JR・地下鉄桜木町駅から500m

京急日ノ出町駅から600m

分科会・閉会行事

8月14日（水）

横浜市教育会館

□参加資料代

3,000円

（生徒交流会・フィールドワークは別途）

□参加申し込み

当日会場にて

詳しくは開催要項をごらん下さい。後日、全外教のサイトに掲載します。

<http://www.zengaikyoo.org>



主催：全国在日外国人教育研究協議会 全外教神奈川大会実行委員会

後援：神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市各教育委員会（以上、申請予定） 神奈川県人権教育推進協議会 他

連絡先：全国在日外国人教育研究協議会 e-mail: mail@zengaikyoo.org